

## 〈 完成報告書検討結果（東洋大学福祉社会デザイン研究科） 〉

### [1] 概評

2007（平成19）年度の本協会による大学評価に際し、貴大学福祉社会デザイン研究科は、評価資料を提出する4月段階において申請資格充足年度（標準修業年限+1年）を経ておらず、教育・研究活動に関する評価を十全には行えなかった。よって当該研究科の完成時の状況を、完成報告書として取りまとめることを求めた。

今回提出された完成報告書からは、同研究科は「社会福祉学」「福祉社会システム」「ヒューマンデザイン」「人間環境デザイン」の4専攻からなり、課程ごとに教育目標を定めているが、ヒューマンデザイン専攻の目標はやや具体性を欠いているように見受けられる。

全専攻において社会人入試が実施されており、夜間・土曜の講義開講や秋入学制度の実施など、社会人学生への配慮がなされている。

また、履修指導、学位論文作成過程における教育・研究指導体制については、研究者倫理も含めて適切な対応がなされている。

ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動、成績評価基準および学位授与基準の明示などについても適切になされている。

ただし、社会福祉学専攻の課程博士授与件数が在籍学生数に比して少ないことや、専攻・課程により、定員超過・定員割れが見られることについては、今後の改善が望まれる。

以上のことから、学生の受け入れをはじめ、注意すべき点が見受けられるものの、おおむね目標は達成されていると判断される。

### [2] 今後の改善経過について報告を求める事項

なし

以 上